

科目名	3級造園技能士資格対策						年度	2026	
英語科目名	Level 3 landscaping technician qualification measures						学期	前期	
学科・学年	土木・造園科 1年次	必/選	選1	時間数	60	単位数	2	種別※	実習
担当教員	佐藤武久、鶴田真二		教員の実務経験	有	実務経験の職種		造園施工		
【科目の目的】 3級造園技能士の資格は、造園に関する基本的な技能と知識を有する技能士を認定するためのものです。この資格取得を目指す者は、一定レベルの造園技術を身に付け、さまざまな造園作業を適切に行う能力があることが求められます。3級造園技能士資格の取得を目的とします。									
【科目の概要】 3級造園技能士資格の科目目的は、造園に必要な基本技術と知識を習得し、植物の管理、機械操作、設計施工の基礎を学び、安全かつ効率的な造園作業ができるようにすることです。また、環境保全と持続可能な造園方法も重視します。									
【到達目標】 造園概論では、次の3つを到達目標とする。 ①造園計画のプロセスを理解する ②計画立案に必要な知識・法規等を理解する ③造園計画の基本的な考え方を理解する									
【授業の注意点】 造園技能士の授業では、安全第一を徹底し、機械の正しい操作方法を学ぶことが重要です。また、実践的な技術の習得には実地での演習が不可欠であり、指導者の指示に従うこと。さらに、環境への影響を考慮した作業方法を意識し、持続可能な造園技術の理解を深めることが求められます。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック評価	レベル5 優れている		レベル3 ふつう				レベル1 要努力		
到達目標 A	高度な技術を駆使し、創造的な作業ができる。		複数の技術を自立して操作でき、問題解決ができる。				基本的な技術の操作ができるが、指導が必要。		
到達目標 B	安全文化の促進者として、周囲への啓蒙も行う。		安全規則を自発的に遵守し、他人への指導もできる。				安全規則の基本を理解しているが、注意が必要。		
到達目標 C	持続可能な造園技術の開発と実践に貢献する。		環境への影響を考慮した作業を計画・実施できる。				環境保護の基本的な知識がある。		
到達目標 D									
到達目標 E									
【教科書】 3級造園技能検定受験の手引き 日本造園組合連合会									
【参考資料】 特になし									
【成績の評価方法・評価基準】 課題の到達度、提出状況、授業への取組等を総合的に評価する。									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		3級造園技能士資格対策			年度	2026
英語表記		Level 3 landscaping technician qualification measures			学期	前期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	造園基礎と導入	造園の基本的な理念と歴史的背景を理解する。	1 造園の歴史と文化的意義	造園の基本用語の理解と使用	1	
			2 造園に関わる主要な概念と用語	造園デザインの基礎を把握		
			3 造園デザインの基本的な要素とスタイル	造園の歴史的背景に基づくインスピレーションの得方		
2	土壌学と地質	土壌の種類と特性を理解し、適切な土壌管理技術を学ぶ。	1 土壌の成分と構造	土壌の適切な評価方法	1	
			2 土壌の種類とそれぞれの特性	土壌改良技術の適用		
			3 土壌のpHと栄養素のバランス	pH調整と肥料の選択		
3	植物学基礎	主要な植物群の特性とその生育要件を理解する。	1 植物の分類と特徴	植物の選定と配置	2	
			2 植物の生育サイクルと繁殖方法	病害虫の早期発見と対策		
			3 植物の病害虫とその管理	植物の繁殖技術		
4	植栽計画とデザイン	効果的な植栽計画と美学的な造園デザインを作成する。	1 植栽デザインの原則	デザインコンセプトの開発	2	
			2 植物の色彩、形、テクスチャの使用	植物選定における美的配慮		
			3 視覚的バランスと機能的配置	植栽計画の具体的な実行		
5	土木工事と基礎作成	造園における土木工事の基礎と施工技術を学ぶ。	1 排水システムと基礎の構造	排水と基礎設計の計画	2	
			2 石積みと舗装技術	石と他の自然素材の施工技術		
			3 土木工事の安全管理	安全な作業環境の維持		
6	機械と機器の操作	造園に使用される主要な機械と機器の操作方法を習得する。	1 造園用機械の種類と機能	機械操作の正確な技術	2	
			2 機械操作の基本と安全プロトコル	定期的な機械メンテナンス		
			3 機械保守とトラブルシューティング	緊急時の機械トラブルシューティング		
7	水系と灌漑システム	効率的な水管理と灌漑システムの設計と実装を学ぶ。	1 灌漑システムの種類と設計原則	灌漑システムのカスタマイズと設置	1	
			2 水の持続可能な利用と管理	水資源の効率的な利用		
			3 灌漑システムのインストールとメンテナンス	灌漑システムの保守と改善		
8	環境と持続可能性	造園における環境保護と持続可能性の原則を理解し実践する。	1 環境影響評価の基礎	環境に優しい造園技術の適用	2	
			2 エコフレンドリーな材料と技術	持続可能な資材の選択と利用		
			3 バイオダイバーシティと自然環境の保全	生態系と調和する造園デザイン		
9	植物の病害虫管理	植物の健康を保つための病害虫管理技術を習得する。	1 病害虫の識別方法	病害虫の早期発見と診断	1	
			2 予防的管理措置	予防的治療プログラムの実施		
			3 病害虫対策の化学的および生物的方法	環境に優しい病害虫管理		
10	植物学	植物の分類と生理	1 主要な植物群の分類	植物の分類方法の理解	2	
			2 植物の生理プロセス（光合成、呼吸）	植物生理の基本知識		
			3 植物の成長条件とその管理	植物の健康管理技術		
11	土壌学	土壌の性質と管理	1 土壌の種類と特性	土壌の分析と評価	1	
			2 土壌改良技術	土壌改良方法の適用		
			3 水はけと肥沃度の評価	植物の成長に適した土壌の選定		
13	造園デザイン	造園デザインの基本	1 デザインの構成要素（線形、形状、質感）	デザイン原則の適用	2	
			2 色彩の使用と心理的影響	色彩と植物の選択		
			3 デザインにおけるスペースの利用	効果的な空間配置の計画		
13	植物の植え付けと管理	正しい植え付け技術と植物の維持管理方法を学ぶ。	1 植物の植え付け方法。	植物の植え付けと配置計画。	1	
			2 水やりと肥料の適用。	効果的な水管理と肥料施用法。		
			3 病害虫管理。	病害虫の識別と対策。		
14	造園機械の操作	造園に使用される主要な機械の操作方法と保守を学ぶ。	1 主要な造園機械とその機能。	造園機械の安全な操作。	1	
			2 機械操作の基本。	基本的な機械保守。		
			3 機械の日常保守とトラブルシューティング。	故障時の基本的なトラブルシューティング。		
15	造園機械と工具の使用	造園作業に必要な機械と工具の安全な使用方法を学ぶ。	1 造園に用いる主要な機械の紹介	造園機械の安全操作	1	
			2 機械の操作とメンテナンス	基本的な機械メンテナンス		
			3 工具の選択と保管方法	効率的な工具使用技術		

評価方法：1. 小テスト、3. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等